

組合基本方針 ◎組合の団結と調和

新年のご挨拶

流山工業団地協同組合 理事長 高橋 啓浩



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素から組合運営、事業実施に格別なるご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

昨年を振り返ってみますと、イギリスのEUの離脱問題、アメリカ大統領選においてはトランプ氏のまさかの逆転勝利、いよいよトランプ氏登場です。世界に、日本に、我々企業にどのような影響を及ぼすのか、定かではないが、トランプ氏の発言、一言一言に一喜一憂しながらも、不安が大を占めているのではないのでしょうか。その反面、楽しみも期待も大ではないのでしょうか。

逆転と言えば、プロ野球の日本ハムが11ゲーム差をひっくり返してリーグ優勝を果たし、2連敗から4連勝で日本一、諦めない、団結の大切さを改めて教えてくれました。この「まさか」の極めつけは、リオ五輪におけるメダルラッシュ、特に陸上男子100m×4リレーの快挙は、日本どころか世界が驚嘆、個々の力では敵わずともチーム力で戦い、アメリカ、カナダを抑えて堂々の銀メダル。あっぱれ！2020年東京オリンピックに大いに期待、ガンバレ日本。

私ども流山工業団地と致しましては、昨年5月には組合設立30年・団地進出25周年記念祝賀会を開催させて頂きました。井崎市長、当時の市長であられ、工業団地の生みの親であります秋元大吉郎先生を始め、多数のご来賓の方々にご臨席を賜り、挙行は盛会でありました。25社でのスタートでしたが、今現在15社で構成されており、組合員数は減少いたしました。充実した企業集団であり、流山工業団地ここに有りと自負しているところであります。それぞれの企業も世代交代が進み若い社長さん達の顔ぶれが多くなってまいりました。この若き社長さん方に今まで掲げてきました組合スローガン、組合とは「人を知り、組織を知り、経営を知る」道場なり。「築こう人の和、出し合おうみんなの英知、目指そう日本一の工業団地」、そして「団結と調和」、是非この組合スローガンを理解し、脈々と受け継いでいかれることを希望し、願っております。

私ごとで恐縮ですが、時を同じくして春の褒章に際し、黄綬褒章を受章いたしました。この受章は、流山工業団地あつての受章であり、流山工業団地協同組合全体が受章したものと自覚をしているところであります。組合員の皆様方、団地造りに多大なるご尽力を賜りました諸先輩の皆様方を始め、組合に関与して頂きました全ての方々から感謝も申しあげる次第です。

私ども流山工業団地は引き続き一丸となつて、団結をより強固なものとし、組合員企業の繁栄、組合の発展に邁進いたし、地域経済に些かでも貢献できるよう努力して参る所存でございますので、今後も更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、皆様方のご健勝と、ご多幸をご祈念申し上げまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

- 年度方針● 経営に関する最新情報の提供
後継者の育成
経営基盤を発展、基盤を強化

新年の挨拶

新年明けましておめでとうございます。

流山市長 井崎 義治

流山工業団地協同組合の皆様には、穏やかに初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素から、組合員の皆様には、市政はもとより地域経済の発展に多大なるご貢献をいただき心からお礼申し上げます。

はじめに、本市は、昭和42年1月1日、千葉県下20番目に市制施行となり、本年1月1日に50周年の節目を迎えました。市政施行から半世紀を祝うに当たり、1月21日、文化会館において市政施行50周年記念式典を挙行いたします。組合員の皆様の更なるご尽力を賜り市内経済の発展に共に歩んでまいりたいと思っております。

我が国の景気は、緩やかな回復基調が続いていると言われておりますが、中小事業者の皆様にとっては、まだまだ厳しい経済状況が続いており、流山工業団地協同組合と行政が一体となり改善していく必要があると感じております。

このような中、流山市は、人口も約18万人と順調に増加し、特に30・40歳代の子育て世代の人口が増加しています。

是非ともこの流山市の状況を、ビジネスチャンスと捉え、皆様の事業の発展に結び付けて頂きますよう、心から期待とお願いを申し上げます。

結びに、流山工業団地協同組合のますますのご発展と組合員の皆様のますますのご健勝、そして、本年が幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



流山商工会議所
会頭 池森 政治



新年あけましておめでとうございます。流山工業団地協同組合員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

アベノミクスが本格的にスタートし、大胆な金融政策と機動的な財政政策により、我が国経済は、需給ギャップ縮小によるデフレから脱却迄あと一歩というところまで来ました。デフレ脱却を第一目標と掲げ、此処まで成果をあげたアベノミクスを評価しています。日本が次に越えなければならない大きい山は、「成長する経済」への軌道変更です。成長軌道に乗せるには、成長戦略の実行、すなわち構造改革とイノベーションが必須であります。その主役は我々民間であります。成果が出るまでには時間がかかる事を覚悟し、継続的で粘り強い取り組みが必要と考えます。

貴組合におかれましては、昨年5月に組合設立から30年、工業団地移転創業から25年、地域経済の製造業の核として実績を積み重ねてこられました。これからも一致団結され尚一層の取り組みをご期待申し上げます。

本年が組合員の皆様方にとって輝かしい年になりますようご祈念申し上げ、更に流山市産業界のリーダーとしてご活躍されますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

高橋理事長黄綬褒章受章祝賀会 開催

『平成 28 年春の褒章』で 株式会社マルタカ 代表取締役会長 高橋啓治氏（流山工業団地理事長）が黄綬褒章を受章致しました。

この祝賀会である「高橋啓治氏 黄綬褒章受章お祝いの会」が去る、平成 28 年 10 月 30 日 浅草ビューホテルにて盛大に開催されました。

祝賀会発起人代表 秋元大吉郎元流山市長をはじめとし、総勢 10 名の発起人（鈴木幸夫、平栄三、石原重雄、池森政治、菊地憲悦、熊本忠夫、洞下英人、渡辺数樹、遠藤佳男）の呼びかけにより 全国工場団地協同組合連合会、千葉県中小企業団体中央会、流山工業団地協同組合の関連団体や業界の方々を始めとし、北は北海道、南は九州の全国各地より多数参集されました。

祝宴は、高橋夫妻の入場で始まり大きな拍手で迎えられ、会場内を回り壇上へと向かいました。

秋元大吉郎元市長の発起人代表挨拶を皮切りに、ご来賓の祝辞を

全国工場団地協同組合連合会 副会長 自見榮祐様、
千葉県中小企業団体中央会 前会長 坂戸誠一様、
衆議院議員 農林水産副大臣 齋藤健様、
株式会社商工組合中央金庫 代表取締役副社長 菊地慶幸様
の皆様より頂戴致しました。

これまでの高橋会長の功績・業績・人柄など賞賛するお言葉がありました。

記念品贈呈では、発起人代表より 高橋会長へ記念品が贈呈されました。

次に高橋夫妻へ 3 人のお孫さんから花束が贈呈され、安堵したのか開宴後、初めてお二人の万弁の笑みを拝見することができました。

ここで、黄綬褒章受章者である高橋会長より謝辞があり、受章のお礼、受章の経緯などを拝聴することができました。

次に、鏡開きに移り、酒樽 3 樽を総勢 22 人が囲み“ヨイショ・ヨイショ・ヨイショー”の大きな掛け声の下、華やかに執り行われました。

千葉県議会議員 武田正光先生の乾杯により 宴が開催されました。

余興では、振袖さんによる舞踊や、津軽三味線が催され祝宴に華が添えられ大変盛り上がりました。また、会場内は余興の歌や三味線の音色を打ち消すほど賑やかに盛り上がりました。

最後に

お礼の挨拶 発起人 株式会社マルタカ 代表取締役社長 遠藤佳男、
祝い締め 発起人 全国工業団地協同組合連合会 前副会長 鈴木幸夫氏、
閉会挨拶 発起人 流山市副市長 石原重雄氏の閉目の挨拶で盛況の裡のうちにお開きとなりました。

ご多忙の中、多数の方々にご臨席を賜りありがとうございました。盛大に祝宴を開催することができ心よりお礼を申し上げます。



第4回団地まつり

去る10月23日事務局前駐車場にて第4回流山工業団地祭りが開催されました。

当日は天気にも恵まれ約250名の方が参加下さいました。そもそもこのお祭りは工業団地で働いている方々とその家族へ日頃の感謝の意を伝えようというところから始まっております。多くの従業員や家族の皆様の笑顔が印象に残りました。次回もより良い団地祭りにするため、今回の反省を生かして、1人でも多くの方から参加いただけるような企画をしたいと思います。



最後に設営を手伝って下さいました従業員の皆様、ブースを出展下さいました地元飲食店の皆様、ご協力ありがとうございました。

団地祭り実行委員会
委員長 熊本 匡史



代表取締役就任のご挨拶



有限会社 長浦製作所

代表取締役社長 長浦 謙太郎

2016年は世界を見渡しても激動の年であり、そのような年に父より代表の職責を受け継ぐ事は、とても身の引き締まる思いであります。中国経済の後退、英国のEU離脱、トランプ氏の米大統領就任、米のTPPからの離脱宣言などは、世界の情勢や経済共同体のありようの変質を想像させ、利己的で閉鎖的な社会を連想させます。株価の上昇や円安推移といった日本経済にとって本来明るいと言われている兆しも、我々に明るさをもたらすようには感じられず、2017年1月時点において日本経済はどのようになっているか、全く想像が及びません。

代表取締役社長に就任した今、上記に上げたようなマクロ経済に対する憂いではなく、もっと身近で、生きて確かなものに対して思いを馳せようと感じております。

まずは、社員、社員の家族、そして取引先様、協力企業様、自身に少しでも関係する方々にいかに明るさや喜びを提供できるか。そう考え日々行動することで、身近なところから少しずつでも明るさを広めていきたい。そして、相互に結びあうことで、お互いの大切さを感じより以上の力を発揮する。そういった関係性を大切に、これからも企業活動を行って参ります。まだまだ至らない点ばかりではありますが、流山工業団地協同組合に属する恩恵に感謝しつつ、人や社会に必要とされる企業を目指し社内一丸となって取り組んで参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

千葉商科大学の企業見学について

12月9日（金）本日は千葉商科大学の学生方が株式会社サンオーと弊社に来られました。

男女合わせて20名程の大人数、まずは机に並べられた成形品サンプルを前に社長からの企業説明。普段関わることのない業種のためか、プラスチックの製品を前に学生の方々がまいちピンと来ない様子です。続いて射出成形機を使用してのプラスチック成形品試作実演。

日常で使われるようなプラスチックのアイテムが目の前でサクサク出来る光景に、学生の方々の興味が沸いてくる様子が見てとれました。それからは実際に金型を作る機械の説明です。私は切削機械の説明をしましたが、その頃には極小の刃物などに驚いてくれるようになりました。

最初の机に戻って再び社長の説明、今度は色々質問をしてくる学生の方々。少々留学生や女性の方がアクティブに質問してくるようになります。男性の方は機械の周りを見たり中を覗き込んだりする方に集中しています。やはり男の子はメカが好きなのでしょう。業種にもよりますが、個人で企業を見学する機会はあまりありません。大学でこのような時間を作って頂いたことに感謝すると同時に、学生の方々と我々にとって良い経験であったと思えたら幸いです。

有限会社長浦製作所
長浦 匡成



第24回ボウリング大会

第24回ボウリング大会を7月22日（金）に16チーム64名の参加で開催しました。

前年より3チーム参加が増えたこともあり、白熱の激戦が展開され、

団体優勝	(株)サンオー	1, 172ピン
2位	(株)ファンケル美健	1, 001ピン
3位	(株)スイコー	996ピン
個人優勝	伊藤 敏彦氏	329ピン [(株)サンオー]
2位	海老原 正美氏	310ピン [(株)サンオー]
3位	大芦 恵美氏	305ピン [(株)マルタカ B]

以上の結果となりました。



優勝チームコメント

流山工業団地ボウリング大会に、サンオーチーム（伊藤、加藤、大塚、海老原）4人で参加しました。いざ始まると皆スコアが良く、チーム内で対抗意識が芽生え、1ゲームが終わり周りをみればスコアがずば抜けていたので、これはもしかしたらと思いながらゲームを進めていました。

個人の成績発表で1位、2位、4位を取り、見事優勝する事ができました。次回も、ハンデ関係なく連覇をねらいたいと思います。

(株)サンオー 海老原 正美





第13回組合ゴルフコンペ開催



平成28年11月3日第13回組合ゴルフコンペをJGMやさと石岡ゴルフクラブにて10名で開催いたしました。ローカルハンディキャップではなく、新ペリア ハンディキャップ上限なしで行い、下記の結果となりました。

次回第14回は、3月又は4月の開催予定です。



優勝	熊本 忠夫氏 [株初石 会長]	GR 91	HD15.6	Net75.4
2位	安藤 正典氏 [商工中金 松戸支店長]	GR101	HD24.0	Net77.0
3位	遠藤 佳男氏 [株マルタカ 社長]	GR 94	HD16.8	Net77.2

事務局だより

今後の予定

2月23日 献血協力

血液は、長期保存ができませんので、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

3月又は4月 第14回組合ゴルフコンペ

4月 一般健康診断

年2回実施している一般健康診断です。

5月 第31回通常総会

編集後記

皆様 新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

2016年は、リオオリンピックが開催されました。

獲得メダル数は過去最高の41個でした。日本中を大いに沸かせ、感動を共有させて頂きました。個人的には400mリレーが印象に残りましたが、皆さんはいかがでしたでしょうか？

スーパーマリオやドラえもん等が登場した2020年に向けてのプレゼンも大変印象深く、世界中の人々も魅了されたのではないのでしょうか！？

2017年は酉年です。

また酉年の「酉」は、「酒」に関する時に用いられ、収穫した作物から酒を作る、また収穫できる状態である、という意味から「実る」という意味もあるそうです。

丁の「安定する」、酉の「実る」という意味が合わると、とてもいい年になるようです。

組合員の皆様にとって、2017年が実り多き1年になります様に、心よりお祈り申し上げます！！

大塚 英一

流山工業団地協同組合

編集・発行：青年部

〒270-0107 流山市西深井 1028-46

電話 04 (7153) 3001